

## 第4期「日野人げんき！」プラン

# 令和4年度進捗状況評価報告



日野市健康福祉部健康課

## 【第4期「日野人げんき！」プランについて】

設定期間: 令和3年度(2021年度)～令和7年度(2025年度)までの5年間

≪目的≫ 健康寿命の延伸のための取り組みの推進

〔取り組みの方向〕 ヘルスケア・ウエルネス戦略

上記を掲げ大目標1～3を設定

大目標の下に中目標を設定し、中目標に対する進行管理を行います。

## 【令和4年度評価の方法について】

・評価体制:『主管課評価』→『評価推進委員会』の2段階で実施。

『主管課評価』 取り組みを担当している課が評価

『評価推進委員会』「日野人げんき！」プラン 評価実施要綱に基づいた構成メンバー

- (1) 公募による市民代表2名
- (2) 医師会推薦1名、歯科医会推薦1名、薬剤師会推薦1名
- (3) 日野市職員3人…健康福祉部参事、子ども部長、教育部長

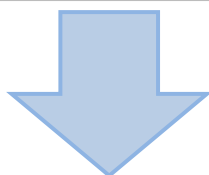
・評価の基準: 下記3段階で設定

- : 現状値より増えた
- △ : 現状維持
- × : 現状値より減った

# 令和4年度評価内容

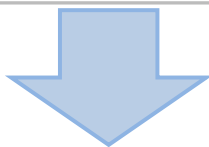
## 主管課評価

- ・主管課が本プランで設定した数値目標（健康指標）を含め中目標の達成状況についての評価を行いました。
- ・主管課での評価結果は10の中目標に対し「現状値より増えた：○」・・・5、「現状維持：△」・・・2、「現状値より減った：×」・・・3
- ・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、当初目標としていた数値に届かなかった項目もありました。しかしながら、新たな手法を取り入れる等、工夫を凝らし、事業を実施していくことができました。



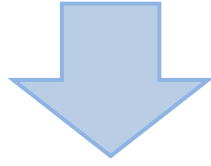
## 評価推進委員会

- ・対面での評価推進会議を開催。各委員からの意見をまとめ評価結果としました。
  - ・上記「主管課評価」をふまえ、中目標の達成状況についての評価を行いました。
  - ・「評価推進委員会」の審議結果報告を受け、令和4年度の評価結果として市民へ公表していきます。
  - ・評価推進委員会での評価結果は10の中目標に対し、「現状値より増えた：○」・・・5、「現状維持：△」・・・5、「現状値より減った：×」・・・0
- 新型コロナウイルスの影響により、目標値に届かなかった事業もありましたが、コロナ禍における取り組みの工夫や新たな手法を用いた事業展開についてなど、評価いただけた部分もありました。
- ・「評価推進委員会」の各中目標の結果は次ページ『第4期「日野人げんき！」プラン令和4年度評価概要（評価推進委員会）』を参照してください。



裏ページへ

つづき



## 評価推進委員会評価結果を受けて

・令和4年度も、新型コロナウイルスの影響を受け、目標値に届かなかった項目があったものの、令和3年度に比べると目標値を達成した項目が増え、現状値より減った項目がなくなりました。これは事業の周知方法の見直しや、事業内容の工夫、さらに新たな手法による実施をしたことが評価されました。

一方で、相変わらず課題を指摘されている項目が少なくありません。

具体的には、今後に向けて、新型コロナウイルスが5類に移行したことを踏まえ、コロナ禍で見えてきた課題を分析し、他団体の取り組みを研究し、効果的な周知啓発活動が必要というご意見がありました。

また、事務移管に伴う事業について、同一部署で取り組むメリットを活かした事業展開を期待するとのご意見をいただきました。

・「評価推進委員会」の評価結果をもって各事業にフィードバックしていきます。  
本評価を含め課題を検討し、今後の取り組みや改善につなげていきます。

第4期「日野人げんき！」プラン令和4年度評価概要（評価推進委員会）

・評価の基準：下記3段階で設定

○：現状値より増えた

△：現状維持

×：現状値より減った

大目標	中目標	中目標への 令和4年度評価	令和4年度評価と課題
1、健康づくりを 推進します	1 日頃から感染症の発生及び蔓延を予防していく体制を推進します	○	【評価】 情報発信件数により、内容をタイムリーなものに更新できたと思います。 【課題】 単純に回数の比較ではなく、必要なタイミングで必要な方に届く内容、方法がとられていることが重要なので、5類移行後も的確な情報発信を引き続きお願いします。
	2 生活習慣病予防を推進します	△	【評価】 ・コロナ禍でゼミナールを15回実施したことは高く評価いたします。 【課題】 ・コロナで市民の健康意識がどう変わっているのかを検証していく必要があると思います。 ・特定健診の勧奨方法の検討と、若い世代の受診率向上について勧奨方法の検討をいただき、周知啓発活動に力を入れて頂きたいと思ます。
	3 高齢社会を地域で支えるための「健康づくり」を推進します	△	【評価】 コロナ禍で交流機会が減少するなか、健康体操サポーター2人が新規登録されたことを評価いたします。 【課題】 身近な場所で市民が自発的に運動ができる仕掛けのため、健康体操サポーターの役割が重要ですので、市民主体の活動が継続できるよう負担軽減や意欲が高まる取り組みについて引き続き検討をお願いいたします。
2、がん対策を 推進します	1 がんの予防を推進します	○	【評価】 子育て世代や子どもたちに対するがん教育は重要と考えるため、若い世代が集まる場所へ出向いた教育の実施回数が増えたことは評価いたします。 【課題】 児童・生徒に対してはタブレット端末を活用した啓発方法も効果的だと思うので、SNSでの情報発信に注力していただきたいと思ます。
	2 がんの早期発見を推進します	△	【評価】 受診勧奨を2世代から15世代に拡大したことは評価できます。 【課題】 受診率が下がっている理由の分析と他団体の取り組み状況など調査研究し問題点を探し、改善に取り組んでいただきたいと思ます。
	3 がんとの共生を図ります	○	【評価】 色々な取り組みの努力により、支援団体を1団体増やす事が出来たことは評価します。 【課題】 ・誰もがわかりやすく、がんに関する理解が深まるような情報発信の工夫をお願いいたします。 ・また、在宅療養支援課より事業移管されて同一部署で取り組むメリットを生かした事業展開を期待いたします。
3、歯とお口の 健康づくりを推 進します	1 【妊娠期】妊娠期間からかかりつけ歯科医を持ち、母子共に健康なお口を育てられるよう推進します	○	【評価】 妊婦健診は他市に比べてかなり高い受診率であり、実績として数値が改善したことは評価いたします。 【課題】 ・妊婦歯科健診は歯の健康への関心を持つきっかけとしてよい機会になるので、HPでの周知以外にも母子手帳交付窓口など多様な場所での周知を検討し、受診率向上を目指してほしいと思ます。 ・口腔ケアの重要性を伝えるうえで、リスクだけでなくメリットを強調するなど、関心を高める動機付けの工夫を検討してほしいと思ます。
	2 【乳幼児期】むし歯のない健康なお口を持つ子どもの育成に取り組めます	△	【評価】 どの項目も現状値に近く横ばい状態ですが、数値は改善しており、前進と捉えています。 【課題】 歯科専門職を中心に、保護者への情報発信の更なる充実をお願いいたします。
	3 【学齢期・成人期】子どもの歯肉炎予防・成人の歯周病予防に努めます	○	【評価】 中学生に対しては、学校歯科医、養護教諭の取り組みは評価できます。 【課題】 ・学校、学校医、教育委員会事務局、市長部局の連携を深めてより一層の予防に取り組んでほしいと思ます。 ・フleur予防につなげられるよう、口腔機能の維持、向上が図れるよう、周知啓発の強化に努めてほしいと思ます。
	4 【高齢期】口腔機能の維持向上を推進します	△	【評価】 今年度より健診内容が一新され、本来の後期高齢者健診＝オーラルフレイルに特化したものとなり、特に数値データに現れるので、受診者にも健診結果から自分の状態を理解しやすく改善が見込まれるものとなり、評価いたします。 【課題】 受診率は低いので、地域包括支援センターなどと連携して周知啓発の強化に努めてほしいと思ます。

< 評価詳細 >

大目標 1 健康づくりを推進します

・評価の基準：下記3段階で設定  
 「○」 現状値より増えた  
 「△」 現状維持  
 「×」 現状値より減った

中目標	担当	指標	現状値	令和3年度実績値	最終目標値	令和4年度実施計画 【最終目標値達成のために実施する事業(業務内容)】	主管課評価				評価推進委員会		
							令和4年度実績	実施内容 【目標達成のために実施した事業】	達成状況と課題	評価	評価と課題	評価	評価と課題
1	健康課	感染症情報のホームページ更新回数	0回	422回	増やす	<ul style="list-style-type: none"> <li>国や都からの情報発信に合わせ、感染症に関する最新情報をタイムリーに情報更新を行う。</li> <li>正しい知識の普及や感染予防行動がとれるよう周知を図る。</li> <li>情報によってはホームページの更新に合わせラインの配信を行い、市民への知識の普及や感染予防行動がとれるよう働きかける。</li> </ul>	368件 (予防接種に関する情報発信100件、日報・月報258件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症発生時の対応としては、国や都からの通知に合わせ、最新情報をタイムリーに情報更新を行った。また市内の感染状況についても日報・月報の更新を行い感染状況の周知を行った。</li> <li>その他の感染症に関しても、適切な時期に予防接種や感染症における最新の情報発信を行った。</li> </ul>	R3年より回数は減少はしているがホームページの更新回数は多く、タイムリーに情報更新をするという点では目標は達成できた。今年度はインフルエンザの同時流行に対してもHPで積極的に呼びかけを行った。今後新型コロナウイルスが5類に移行することで、更新回数は減少する可能性も考えられる。回数だけではなく、タイムリーにそのとき行うことも指標の一つとして捉え、継続して情報発信を行っていきたい。またその他の感染症や、予防接種に関する情報発信も引き続き適切な時期に行っていく。	○	<p>【評価】最新情報をタイムリー情報更新がなされたことは評価できるものと考えられる。</p> <p>【課題】新型コロナウイルスが5類に移行した後も、その他の感染症も含め必要な情報を適時情報発信していくことに努める。また、LINEなどのツールを活用し、様々な方法での情報発信に努める。</p>	○	<p>【評価】情報発信件数により、内容をタイムリーなものに更新できたと思います。</p> <p>【課題】単純に回数の比較ではなく、必要なタイミングで必要な方に届く内容、方法がとられていることが重要なので、5類移行後的確な情報発信を引き続きお願いします。</p>
2	健康課	健康教育事業実施回数	19回	4回	増やす	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ対策を講じながら、日野人げんきゼミナール(地域での健康教育)を実施していく。</li> <li>高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業でも健康教育を行っていく。</li> </ul>	15回	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ対策を講じながら、日野人げんきゼミナールを実施した。乳がん検診、骨粗しょう症検査において健康教育を実施した。</li> </ul>	少しずつ平常の活動が戻りつつあり、直接市民へアプローチできる機会が増えている。目標には到達していないが、今後も周知しながら有効的な健康教育を実施していく	×	<p>【評価】健康教育事業については、感染対策を講じながらコロナ前の水準で実施することができたことは評価できると考える。</p> <p>【課題】今後も引き続き若い世代に有効な受診勧奨方法を検討し、生活習慣病予防の推進に向け取り組んでいく。</p>	△	<p>【評価】コロナ禍でゼミナールを15回実施したことは高く評価いたします。</p> <p>【課題】コロナで市民の健康意識がどう変わっているのかを検証していく必要があると思います。</p> <p>特定健診の勧奨方法の検討と、若い世代の受診率向上について勧奨方法の検討をしていただき、周知啓発活動に力を入れて頂きたいと思います。</p>
	健康課	特定健診受診率	46.3%	44.9%	増やす	<ul style="list-style-type: none"> <li>電話による受診勧奨対象者を増やし、受診勧奨を行う。また、若い世代(40~64歳)の受診率向上のために、LINEによる受診勧奨も検討し実施する。</li> <li>感染症流行時であっても、健診受診の必要性について周知する。</li> </ul>	44.7%	<ul style="list-style-type: none"> <li>市LINEで令和5年1月5日に特定健診未受診者向けの勧奨案内を行った。</li> <li>特定健診未受診者8,340人に対し、受診勧奨ハガキを送付した。</li> </ul>	受診率は減少しているが、LINEでの受診勧奨といったアプローチを実践することができた。新型コロナウイルスの影響も今後改善されることが予想されるため、引き続き健診の必要性の周知方法を工夫していく。				
3	健康課	健康体操サポーター新規登録数	3人	2人	増やす	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規健康体操サポーターの募集を広報で実施するだけでなく、楽・楽トレーニング体操、ミニ楽・楽トレーニング体操の参加者に対して、サポーター募集の声掛けを行う。</li> </ul>	2人	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規サポーター申込者獲得のため、楽・楽トレーニング体操、ミニ楽・楽トレーニング体操の参加者に対して、声掛けを行った。(特に、現サポーターから見て、活動意欲のありそうな参加者へ向けて)</li> </ul>	令和4年度で新規サポーター募集を行い、2名の申込があったため、令和5年度から活動に参加予定である。また、令和3年度に養成講座を実施した2名が令和4年度に本登録となった。	×	<p>【評価】健康サポーター新規登録者獲得のための呼びかけにより2名の新規登録があったことについてその努力は評価できると考える。</p> <p>【課題】活動を支えるサポーターの負担感なく継続実施できる手法を検討しながら、自分に合った健康づくりの場や機会の充実を図り、より一層効果的なフレイル予防の充実を図る。</p>	△	<p>【評価】コロナ禍で交流機会が減少するなか、健康体操サポーター2人が新規登録されたことを評価いたします。</p> <p>【課題】身近な場所で市民が自発的に運動ができる仕掛けのため、健康体操サポーターの役割が重要ですので、市民主体の活動が継続できるよう負担軽減や意欲が高まる取り組みについて引き続き検討をお願いいたします。</p>
	健康課	運動継続期間が5年以上の方	64.4%	-	増やす	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民のフレイル予防のため、市民自身が運動の必要性を知ることができる機会を提供する。</li> <li>市民が健康づくりを自発的に進められるような仕組みを企画する。</li> </ul>	52%	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染予防対策を行いながら、「さわやか健康体操」を実施した。さわやか健康体操の落選者に対しては、市内にある運動施設や団体の紹介を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍の影響により、外出や運動を控えていた参加者が多かったと推測される。また、今後は運動に対するモチベーションを上げてもらえるよう、運動の必要性(フレイル予防)をさらに発信していく。</li> </ul>				

大目標 2 がん対策を推進します

・評価の基準: 下記3段階で設定  
 「○」 現状値より増えた  
 「△」 現状維持  
 「×」 現状値より減った

中目標	担当	指標	現状値	令和3年度実績値	最終目標値	令和4年度目標 【最終目標値達成のために実施する事業(業務内容)】	主管課評価				評価推進委員会		
							令和4年度実績	実施内容 【目標達成のために実施した事業】	達成状況と課題	評価	評価と課題	評価	評価と課題
1	がんの予防を推進します	健康課 子育て世代へのがん予防教育実施回数	2回	1回	増やす	・子育て世代が集まる場所でのがん予防教育を実施する。 ・広報だけでなく、市ホームページ等がんに関する正しい知識を発信する。	4回	・地域の広場や小中学校へ出向き、がん予防教育を実施した。 ・広報以外にも市ホームページ、LINE、Facebookでがんに関する正しい知識を発信した。	・引き続き、地域へ出向き子育て世代へのがん教育を行う。 ・引き続きSNSを活用し、年代に合わせた情報発信を行う。	○	【評価】 ・地域へ出向いてがん教育が4回実施できたこと、また子育て世代に向け、SNSを活用した情報発信について評価できると考える。 【課題】 引き続き、SNSを活用した情報発信と、禁煙について考えるきっかけづくりをいかに効果的に行うことができるかを検討していく必要がある。	○	【評価】 子育て世代や子どもたちに対するがん教育は重要と考えるため、若い世代が集まる場所へ出向いた教育の実施回数が増えたことは評価いたします。 【課題】 児童・生徒に対してはタブレット端末を活用した啓発方法も効果的だと思うので、SNSでの情報発信に注力していただきたいと思っています。
		健康課 禁煙教育実施回数	4回	5回	増やす	・がん検診・特定健診・商工会での健康教育等肺がん検診実施時、禁煙に関心をもってもらうようきっかけづくりを行う。 ・広報や市ホームページ等で禁煙に関する情報を発信する。 ・保健事業と介護予防の一体的実施にて禁煙希望者には禁煙指導を行っていく。	5回	・がん検診・特定健診・商工会での健康教育時、禁煙についての情報発信、健康教育を行った。 ・広報、市ホームページで禁煙に関する周知啓発を行った。	・引き続き、各検診等で禁煙についての情報発信、健康教育を行う。 ・禁煙について考えるきっかけ作りを検討していく。	○	【評価】 引き続き、SNSを活用した情報発信と、禁煙について考えるきっかけづくりをいかに効果的に行うことができるかを検討していく必要がある。	○	【評価】 引き続き、SNSを活用した情報発信と、禁煙について考えるきっかけづくりをいかに効果的に行うことができるかを検討していく必要がある。
2	がんの早期発見を推進します	健康課 乳がん検診受診率	20.2%	14.6%	増やす	・受診率向上に向けて、受診勧奨の送付対象を検討する。 ・受診率向上に向けて、引き続き広報ひのや市LINE等で情報発信を行う。	14.7%	・受診勧奨の送付対象者を検討し、2世代のみに送付していたのを令和5年度より15世代に送付することにした。 ・広報は2回掲載、市LINEは3回掲載し、受診率向上につながるよう実施した。	受診率は上がっていないので、達成はできていないが、年々減少している受診率が横ばいになった。送付対象者を拡大し、その効果が出るのは令和5年度実績からになるので、来年度の受診率に期待したい。	○	【評価】 受診率は横ばいであるが、勧奨通知を2世代から15世代に拡大し送付したことについては評価できると考える。 【課題】 受診率が向上しない理由について更なる分析が必要と考える。 がんの早期発見のために受診率向上に向け、他自治体の状況を調査・研究しながらより効果的な手法を検討し、取り組んでいくことが必要である。	△	【評価】 受診勧奨を2世代から15世代に拡大したことは評価できます。 【課題】 受診率が下がっている理由の分析と他団体の取り組み状況など調査研究し問題点を探し、改善に取り組んでいただきたいと思っています。
		健康課 子宮頸がん検診受診率	13.5%	11.7%	増やす	・受診率向上に向けて、受診勧奨の送付対象を検討する。 ・受診率向上に向けて、引き続き市LINEを使った受診勧奨と50歳代に向けて受診勧奨通知を行う。 ・地域の場での健康教育で子宮頸がんについての周知啓発を行う。	11.8%	・受診勧奨の送付対象者を検討し、2世代のみに送付していたのを令和5年度より15世代に送付することにした。 ・50歳に受診勧奨を送付した。 ・広報は2回掲載、市LINEは3回掲載し、受診率向上につながるよう実施した。 ・地域の場へ2回出向き、子宮頸がんについて周知啓発を行った。	受診率は上がっていないので、達成はできていないが、年々減少している受診率が横ばいになった。送付対象者を拡大し、その効果が出るのは令和5年度実績からになるので、来年度の受診率に期待したい。地域の場のみならず、今後もあらゆる方法で周知ができるよう工夫していきたい。	×	【評価】 受診率は横ばいであるが、勧奨通知を2世代から15世代に拡大し送付したことについては評価できると考える。 【課題】 受診率が向上しない理由について更なる分析が必要と考える。 がんの早期発見のために受診率向上に向け、他自治体の状況を調査・研究しながらより効果的な手法を検討し、取り組んでいくことが必要である。	△	【評価】 受診勧奨を2世代から15世代に拡大したことは評価できます。 【課題】 受診率が下がっている理由の分析と他団体の取り組み状況など調査研究し問題点を探し、改善に取り組んでいただきたいと思っています。
		健康課 大腸がん検診精密検査受診率	63.0%	53.2%	増やす	・引き続き精密検査受診者に対し、受診の必要性を周知していく。 ・精密検査受診率の傾向を把握し、関係機関と課題を共有していく。	50.6%	・精密検査未受診者に手紙、電話で状況確認及び受診勧奨を行った。 ・市ホームページ等でがん検診の周知啓発を行った。	・引き続き精密検査未受診者へ個別の手紙、電話で受信状況の確認、受診勧奨を行う。 ・受診率向上にむけて、精密検査の必要性を市ホームページ等で発信していく。 ・精密検査受診率の日野市の現状を分析し、医師会等と課題を共有し、対応を考える。	○	【評価】 受診率は横ばいであるが、勧奨通知を2世代から15世代に拡大し送付したことについては評価できると考える。 【課題】 受診率が向上しない理由について更なる分析が必要と考える。 がんの早期発見のために受診率向上に向け、他自治体の状況を調査・研究しながらより効果的な手法を検討し、取り組んでいくことが必要である。	△	【評価】 受診勧奨を2世代から15世代に拡大したことは評価できます。 【課題】 受診率が下がっている理由の分析と他団体の取り組み状況など調査研究し問題点を探し、改善に取り組んでいただきたいと思っています。
3	がんとの共生を図ります	健康課 (R4在宅療養支援課)	1団体	2団体	増やす	①市立病院 がんカフェでの保健師の派遣 ②まちの在宅医療相談会の実施 ③在宅療養(がんも含む)についての講座を地域のサロン等で実施 ④公民館と共催して在宅療養(がんも含む)の講座の実施 ⑤図書館で在宅療養(がんも含む)エンディングも含めた企画展の実施 ⑥がんの支援についての調査研究	3団体	①市立病院 がんカフェでの保健師の派遣 ②まちの在宅医療相談会の実施 ③在宅療養(がんも含む)についての講座を地域のサロン等で実施 ④公民館と共催して在宅療養(がんも含む)の講座の実施 ⑤図書館で在宅療養(がんも含む)エンディングも含めた企画展の実施 ⑥がんの支援についての調査研究(アピランスケアについての調査)	引き続き、他部門と連携を図り、がんの支援の広がりをつくっていくことと、がん患者、家族以外もがんに対しての理解者を増やし、がんとの共生を図れるような環境を作っていく。	○	【評価】 様々な取り組みを実施し、昨年に引き続き支援団体が増えたことは評価できると考える。 【課題】 がん患者への支援について調査結果を踏まえ、R5年度にアピランスケアについて具体的に取り組んでいく。また、当事業が健康課へ移管されたことにより、支援が必要な市民への「がんに関する相談・支援団体」の更なる周知啓発に努め、より一層がんとの共生が図れるような環境を整えていく必要がある。	○	【評価】 様々な取り組みの努力により、支援団体を1団体増やす事が出来たことは評価します。 【課題】 ・誰もがわかりやすく、がんに関する理解が深まるような情報発信の工夫をお願いいたします。 ・また、在宅療養支援課より事業移管されて同一部署で取り組むメリットを生かした事業展開を期待いたします。



歯とお口の健康づくりを推進します

・評価の基準：下記3段階で設定  
「○」 現状値より増えた  
「△」 現状維持  
「×」 現状値より減った

中目標	担当	指標	現状値	令和3年度実績値	最終目標値	令和4年度目標 【最終目標値達成のために実施する事業(業務内容)】	主管課評価				評価推進委員会		
							令和4年度実績	実施内容 【目標達成のために実施した事業】	達成状況と課題	評価	評価と課題	評価	評価と課題
1	健康課	【妊娠期】 妊娠期からかかりつけ歯科医を持ち、母子共に健康なお口を育てられるよう推進します	62.0%	61.2%	減らす	ママババクラス(沐浴コース)で配布しているリーフレットは継続して配布する。今後、より多くの妊婦にかかりつけ歯科医の重要性を周知するため、市ホームページ等を活用していく。	54.4%	・市ホームページに妊娠中の口腔の健康の重要性に関するページを作成し、周知啓発を図った。 ・ママババクラスや母子手帳交付窓口での周知啓発を継続実施した。	・妊婦歯科健康診査の受診結果で「かかりつけ歯科医を決めていない人」は減少した。 ・引き続き既存事業や市ホームページでの周知啓発を行い、ポケナビ等を活用した妊婦への情報発信方法を検討する。	○	【評価】 実績として減少したことは評価できると考える。 【課題】 さらなる数値改善を行い推進するため、妊婦へのより効果的な情報発信方法を検討し、妊娠期の口腔ケアの重要性を広く周知していくことが必要である。	○	【評価】 妊婦健診は他市に比べてかなり高い受診率であり、実績として数値が改善したことは評価いたします。 【課題】 ・妊婦歯科健診は歯の健康への関心を持つきっかけとしてよい機会になるので、HPでの周知以外にも母子手帳交付窓口など多様な場所での周知を検討し、受診率向上を目指してほしいと思います。 ・口腔ケアの重要性を伝えるうえで、リスクだけでなくメリットを強調するなど、関心を高める動機付けの工夫を検討してほしいと思います。
2	健康課	【乳幼児期】 むし歯のない健康なお口を持つ子どもの育成に取り組みます	96.5%	95.7%	増やす	1歳6か月児健康診査で、保護者が毎日仕上げ磨きをしている子ども	96.3%	・乳幼児健康相談にて乳幼児の保護者に対して仕上げ磨きの必要性を伝えました。 ・ファーストバースデー事業において、歯科に関する相談があった場合は子ども家庭支援センターと連携しながら相談を受けた。	・保護者が仕上げ磨きをしている子どもは微増した。 ・仕上げ磨きの重要性を周知するリーフレットの配布場所を増やす。また、引き続き健診時、仕上げ磨きを行っていない保護者に対しては歯科専門職による支援を行う。	△	【評価】 むし歯のない子どもが微減したことについては評価できるが、評価項目としてはほぼ全体的に現状維持と考える。 【課題】 乳幼児期の歯科について、食べ物や仕上げ磨き等について保護者の意識や行動が非常に大切である。そのためにも、健診は保護者への動機づけとして最も重要な機会であると考えられる。 コロナ収束にあたり、これまで以上に、歯科専門職を中心に、専門職による支援・周知の充実を図る必要がある。	△	【評価】 どの項目も現状値に近く横ばい状態ですが、数値は改善しており、前進と捉えています。 【課題】 歯科専門職を中心に、保護者への情報発信の更なる充実をお願いいたします。
	健康課	3歳児健康診査で、むし歯のない子ども	92.1%	94.2%	増やす	むし歯のない子どもを増やすため、かかりつけ歯科医を持つことの重要性を周知する。また、健診でむし歯があり、歯科医院に通院していない場合は、歯科専門職や必要に応じ保健師と連携し支援を行う。	93.9%	健診でむし歯があり、歯科医院に通院していない場合は、歯科専門職や必要に応じ保健師と連携し支援を行った。	△				
	健康課	3歳児健康診査で、甘い飲み物をほぼ毎日飲んでいる子ども	21.0%	18.0%	減らす	健診時に配布している、甘い飲み物の摂取等の情報が掲載されているリーフレットは引き続き配布する。また、市ホームページに正しいおやつとの与え方等のページを作成し情報発信を行う。	22.0%	・1歳6か月児健康診査で配布しているリーフレットをリニューアルし、甘い飲み物のむし歯のリスクを含めた生活習慣に関するリーフレットを配布し周知を行った。 ・市ホームページに子どもの歯の健康に関するページを作成し情報発信を行った。	△				
	健康課	3歳児健康診査で、かかりつけ歯科医を持っている子ども	35.4%	36.3%	増やす	健診時の指導やリーフレットだけではなく、市ホームページ等を活用し、より多くの市民に、かかりつけ歯科医の重要性を周知していく。	36.2%	・市ホームページに子どもの歯の健康に関するホームページを作成し、かかりつけ歯科医の重要性について情報発信を行った。 ・継続して乳幼児健診や乳幼児歯科相談事業等がかかりつけ歯科医に関する周知啓発を図った。	△				

歯とお口の健康づくりを推進します

・評価の基準: 下記3段階で設定  
 「○」 現状値より増えた  
 「△」 現状維持  
 「×」 現状値より減った

中目標	担当	指標	現状値	令和3年度実績値	最終目標値	令和4年度目標 【最終目標値達成のために実施する事業(業務内容)】	主管課評価			評価推進委員会			
							令和4年度実績	実施内容 【目標達成のために実施した事業】	達成状況と課題	評価	評価と課題	評価	評価と課題
3 【学齢期・成人期】 子どもの歯肉炎予防・成人の歯 周病予防に努めます	健康課	中学1年生でむし歯のない子ども	77.5%	79.7%	増やす	学校と学校歯科医の連携を引き続き密にとっていく。歯の大切さを伝えるために学校歯科医による講話や歯の磨き方の指導等を行う。養護教諭をはじめとした関係機関との連携を強化する。	85.0%	・中学校職業講習会の際、中学1・2年生10名に対し、歯科衛生士が歯・口の健康の大切さを伝え、歯磨きの方法を指導した。	・コロナ禍で学校での歯に関する取り組みを休止していた学校も多い。養護教諭をはじめとした関係機関との連携を強化し、生徒に対する歯の取り組みを各学校で実施できるようにする。	○	【評価】 令和4年度においても新型コロナウイルスの影響が残り、取組が休止されてしまった学校が多かった。しかしながら「お口の健康診査の受診率」以外の項目においては昨年に引き続き目標値を達成できたことは評価できるものとする。 【課題】 新型コロナウイルスが5類に移行に伴い、受診率向上のための効果的な手法を調査・研究する必要がある。早い段階からの適切な口腔衛生管理によりフレール予防をより効果的に推進するため、より一層の周知啓発活動及び受診勧奨の充実を図り、歯科受診率の向上を目指す。	○	【評価】 中学生に対しては、学校歯科医、養護教諭の取り組みは評価できます。 【課題】 ・学校、学校医、教育委員会事務局、市長部局の連携を深めてより一層の予防に取り組んでほしいと思います。 ・フレール予防につなげられるよう、口腔機能の維持、向上が図れるよう、周知啓発の強化に努めてほしいと思います。
	健康課	中学1年生で歯肉に異常のない子ども	78.4%	87.4%	増やす	年2回の受診勧奨を行う。歯周病によって引き起こされる歯茎への影響や病氣(脳梗塞、心筋梗塞等)について生徒に伝え、歯の治療の大切さを理解させる。養護教諭との連携を図り、保健だより等で情報発信を図る。	89.7%	・年2回の受診勧奨を行った。養護教諭部会に歯科衛生士が出席し、歯科に関する取り組みの共有を図った。 ・養護教諭と調整を行い、令和5年度の保健だよりは、内容の調整を健康課と連携して調整を図ることに決まった。	・歯肉に異常がない子どもは増加傾向にある。学齢期に歯やお口に関する正しい知識を身につけることができるように、引き続き養護教諭等と連携を図り支援を行う。				
	健康課	お口の健康診査の受診率	8.9%	7.1%	増やす	電話での受診勧奨や地域に出向いての啓発活動を増やし、受診率向上を目指して取り組む	6.9%	・事業周知のため対象者全員に無料受診券を発送し、関係機関にポスター掲示を行った。コロナ禍の影響もあり、電話勧奨や地域に出向いての啓発活動ができなかった。	・コロナによる歯科受診控えが続いているのか受診率が下がった。コロナ禍でも受診率を維持している他自治体があるので、取り組みや内容の分析を行い、受診率向上を目指していく。				
	健康課	お口の健康診査受診者で、かかりつけ歯科医を持つ方	59.8%	70.9%	増やす	お口の健康診査時の健康教育やホームページ、広報ひのを通じて、かかりつけ歯科医を持つことのメリットを周知する。地域に出向いて、対面での健康教育の機会を増やす。	67.0%	・お口の健康診査時の健康教育やホームページ、広報ひのでかかりつけ歯科医を持つことのメリットを周知した。地域・新たに、ラインを登録している方に対して周知啓発を行った。	一体的事業の地域に出向いての健康教育で、かかりつけ歯科医を持つことのメリットについて説明した。地域に出向いての健康教育の機会を増やしていきたい。				
4 【高齢期】 口腔機能の維持向上を推進します	健康課	お口の健康診査の受診率	中目標3にて評価							△	【評価】 受診率については、実績として下がってしまった。一方でかかりつけ歯科医については目標を達成することができたことは評価できるため、項目全体としては現状維持と評価する。 【課題】 R5より後期高齢者歯科健診事業をリニューアルし、歯周病予防目的から口腔機能低下予防的にリニューアルされることとなった。口腔機能への「意識を強化し、口腔機能の維持・向上、全身疾患、フレール予防につなげられるよう、健診の充実及び周知啓発の強化に努める。	△	【評価】 今年度より健診内容が一新され、本来の後期高齢者健診=オーラルフレールに特化したものとなり、特に数値データに現れるので、受診者にも健診結果から自分の状態を理解しやすく改善が見込まれるものとなり、評価いたします。 【課題】 受診率は低いので、地域包括支援センターなどと連携して周知啓発の強化に努めてほしいと思います。
	健康課	後期高齢者歯科健診受診率	9.6%	7.9%	増やす	引き続き関係部署、関係機関との連携を図り、令和5年度からの開始に向けて取り組む。	8.2%	・事業周知のため対象者全員に無料受診券を発送し、関係機関にポスター掲示を行った。 ・関係部署・関係機関と連携し、口腔機能健診実施に向け検討し健診実施体制を構築した。	・コロナによる歯科受診控えが続いているのか受診率が下がった。高齢者の集まる場での周知や広報の活用など受診率向上を図る。 ・令和5年度より高齢者の特性に合わせた口腔機能健診を実施し、口腔機能の維持・向上を図る。				
	健康課	お口の健康診査受診者で、かかりつけ歯科医を持つ方											
	健康課	後期高齢者歯科健康診査受診者で、かかりつけ歯科医を持つ方	44.5%	53.0%	増やす	お口の健康診査時の健康教育やホームページ、広報ひのを通じて、かかりつけ歯科医を持つことのメリットを周知する。地域に出向いて、対面での健康教育の機会を増やす。	49.3%	・後期高齢者歯科健診時の健康教育やホームページ、広報ひのでかかりつけ歯科医を持つことにメリットを周知した。 ・新たに、ラインを登録している方に対して周知啓発を行った。	・広報等での周知を引き続き行い、地域に出向く健康教育を行う際にかかりつけ歯科医の重要性について周知を行う。				

第4期「日野人げんき！」プラン評価推進委員会 令和4年度評価結果 (全委員意見)

大目標 1. 健康づくりを推進します

中目標	主管課	中目標の評価[○・△・×]	
		評価	評価と課題
(1) 日頃から感染症の発生及び蔓延を予防していく体制を推進します	健康課	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>指標にあるように「HP更新回数」は、十分に達成していると思います。</li> <li>今後もタイムリーに、HPの更新を継続願います。</li> <li>ホームページからの情報はわかりやすく、とても良いです。今後も願います。</li> <li>「感染症の最新情報の発信」よかったですと思います。</li> <li>しかし中目標の予防していく体制としてはやや違和感があります。</li> <li>情報発信件数により内容をタイムリーなものに更新できたと思います。新聞やネットニュースに載るような感染症の情報をいち早く発信していただければと思います。</li> <li>市民の関心事項についてはタイムリーな発信が出来たと思います。</li> <li>分かりやすく、アクセシブルな情報提供やデジタルデバйд解消の工夫をお願いします。</li> <li>単純に回数の比較ではなく、必要なタイミングで必要な方に届く内容、方法がとられていることが重要だと考えます。</li> <li>タイムリーな情報発信がされていたので、現状より増えたと評価しました。</li> <li>5類移行後についても的確な情報発信を引き続き願います。</li> </ul>
(2) 生活習慣病予防を推進します	健康課	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゼミナールの実施回数を高く評価します。</li> <li>特定健診受診の電話による受診勧奨は不要と考えます。</li> <li>健診対象者が2年連続し、受診しなかった場合3年目には受診の希望のある方だけにしぼってみるのはいかがでしょうか。</li> <li>今後も同じような受診勧奨をつけるかどうかもそろそろ検討しても良い気もします。</li> <li>0.2%の減少だが「できた」と評価します。</li> <li>はがきを送った8340人の「その後」はどうなったのか、結果はでているのでしょうか。</li> <li>はがきを送るタイミングを間違えてはいないか、送ったことでよしとし満足終了となっているか、送ることによりどうなるのかの想定はできているのかをきちんと検証をお願いします。</li> <li>コロナ禍での活動のご苦労を感じます。さらに周知啓発活動に力を入れてください。</li> <li>若い世代(40～60?)と(60～64)に焦点を思い切ってあてたほうが効果的だと思われます。</li> <li>コロナ前の水準に戻りつつあるようで、今後若い世代の受診率上がるように対応を考えていただきたいと思っています。</li> <li>コロナ禍の中での15回の実績は素晴らしいです。来年度に期待します。</li> <li>現在の勧奨方法の効果を検証し、受診率の高い自治体の取り組みなども参考にさせていただきたいと思っています。</li> <li>コロナ禍で交流機会も減少するなか、新規サポーターが増加したことは評価できます。</li> <li>市民主体の活動が継続できるよう負担軽減や意欲が高まる取り組みについても引き続き検討をお願いします。</li> <li>現状値にはもどっていないが、コロナの影響が大きいので現状維持と評価しました。</li> <li>特定健診の受診率が伸びない中、コロナで市民の健康意識がどう変わっているのかを見ていく必要があると思います。</li> </ul>
(3) 高齢社会を地域で支えるための「健康づくり」を推進します	健康課	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動を支えるサポーターへの支援をして今後もお願いしたいと思っています。</li> <li>フレールの観点からは社会的ルールの予防を一番におき、運動(身体ルール)はその中間で密接にからむものと考えます。</li> <li>市民がより外出や運動をしてみたいと思えるような情報発信をお願いしたいと思っています。</li> <li>声掛けの効果で2名の新規参加が獲得できたことは評価いたします。広く広報に載せる事より確実に増えてくれるのではないのでしょうか。今後も継続するべきだと思います。</li> <li>健康志向、運動志向は一定程度あると思うので、動機付け、きっかけづくりが重要だと感じます。(民間事業者との連携なども検討してみてください)</li> <li>コロナ禍で交流機会も減少するなか、新規サポーターが増加したことは評価したことは評価できます。</li> <li>市民主体の活動が継続できるよう負担軽減や意欲が高まる取り組みについても引き続き検討をお願いします。</li> <li>市民の体操サポーターを養成する事業については大変評価しており、2名増加したことは評価しているが、現状値に届いていないので現状値より減ったと評価しました。</li> <li>身近な場所で市民が自発的に運動ができる仕掛けのため、健康体操サポーターの役割が重要と考えます。サポーター増員のための周知活動を広げてほしいと思います。</li> </ul>

第4期「日野人げんき！」プラン評価推進会議 令和4年度評価結果（全委員意見）

大 目 標	2. がん対策を推進します
-------------	---------------

中目標	主管課	中目標の評価【○・△・×】	
		評価	評価と課題
(1) がんの予防を推進します	健康課	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな情報発信に努力されていると思います。今後お願いします。</li> <li>・より積極的な取り組みを期待します。</li> <li>・市民に届きやすい、目に留まりやすい媒体をうまく利用して情報発信をお願いします。</li> <li>・それぞれ目標に対して評価いたします。</li> <li>・児童・生徒に対してはタブレット端末を活用した啓発方法も効果的だと思います。</li> <li>・子育て世代や子どもたちに対するがん教育は重要だと考えます。</li> <li>・対象年代に合わせた内容、方法がとられていることは評価できます。</li> <li>・若い世代が集まる場所へ出向いた教育の実施回数が増えており、現状値より増えたと評価します。</li> <li>・教育に参加する方は少数なので、SNSでの情報発信には力を入れてほしいと思います。</li> </ul>
(2) がんの早期発見を推進します	健康課	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大腸がん検診の精密検査未受診者への対応は細やかだと思います。</li> <li>・市の実施内容に沿っての達成度を見た時に「できた」と評価します。</li> <li>・市で行っている健診精密検査を知ってはいるが、受けないという考えの人もかなりいると思うので、受診していない人への何らかの形でアンケートをとることの検討をお願いします。</li> <li>・受診率向上に向けて取り組みに期待します。</li> <li>・情報を関係他市・医師会と共有し受診率向上を図っていただきたいと思います。</li> <li>・受診勧奨を拡大したことは評価できます。あとは受診率向上に向け情報内容を再度吟味する必要があると思います。</li> <li>・現状値に届かないものの微増項目もあり、地道に取り組んでいくことを期待します。</li> <li>・受診率の他市との比較と取り組みの工夫を参考に改善に取り組んで欲しいと思います。</li> <li>・受診勧奨通知の対象拡大は今後の検証を踏まえて、対象世代の幅をどうするのかなど検討を深めていただければと思います。</li> <li>・検診受診率については現状頭打ち感があるようですので、他団体の取り組み状況などの調査研究の範囲も広げていただけるとよいと思います。</li> <li>・受診率が、現状値から下がっているため現状値より減ったと評価しました。</li> <li>・コロナの中で受診率が下がっていたのか分析が必要と思います。</li> <li>・市民の健康意識は上がっているような気がしますが、がん検診の受診率が増えないのは、周知の問題なのか実施方法の問題なのか分析してほしいと思います。</li> </ul>
(3) がんとの共生を図ります	健康課	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組みに努力を感じます。新たな連携機関との取り組みに期待します。</li> <li>・取り組みに関しては評価できますので今後も維持継続が必要と思います。</li> <li>・全体数が不明だが、1団体増えたことは評価できます。</li> <li>・誰もがわかりやすく、がんに関する理解が深まるような情報発信の工夫をお願いします。</li> <li>・支援団体が増えたことは高く評価できます。</li> <li>・事業移管も前向きにとらえており、同一部署で取り組むメリットを活かした事業展開を期待します。</li> <li>・連携する団体が増えているので現状値より増えたと評価します。</li> <li>・在宅療養支援課のがんの事業も移管されたので、健康課のがんの支援の窓口であることはもっと周知してほしいと思います。</li> </ul>

第4期「日野人げんき！」プラン評価推進会議 令和4年度評価結果（全委員意見）

大目標	<b>3. 歯とお口の健康づくりを推進します</b>
-----	----------------------------

中目標	主管課	中目標の評価[○・△・×]	
		評価	評価と課題
(1) 【妊娠期】 妊娠期からかかりつけ歯科医を持ち、母子共に健康なお口を育てられるよう推進します	健康課	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価できます。引き続きお願いします。</li> <li>・妊婦健診は他市に比べてかなり高い受診率の様である。引き続き妊婦の口腔ケアの必要性を周知をお願いします。</li> <li>・日頃の努力の結果、実績が上がっていると思います。</li> <li>・口腔ケアの重要性を伝えるうえで、リスクだけでなくメリットを強調するなど、関心を高める動機付けの工夫を検討して欲しいと思います。</li> <li>・実績として数値が改善したことは評価できます。</li> <li>・HPでの周知以外にも母子手帳交付窓口など多様な場所での主知も必要と考えます。</li> <li>・実績値が減少しているので現状値より減ったと評価した。</li> <li>・妊婦歯科健診は、歯の健康へ関心を持つきっかけとしてよい機会になるので、受診率の向上を目指してほしいと思います。</li> </ul>
(2) 【乳幼児期】 むし歯のない健康なお口を持つ子どもの育成に取り組めます	健康課	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者への働きかけをさらに充実させて頂きたいと思います。</li> <li>・甘い飲み物を飲むことを減らすというのは困難なことであるが地道に取り組んでください。</li> <li>・ごくまれに3歳児健診で子供の歯を磨いていない親がいるので、子供にとってどうすることが一番良いことなのか？保護者にもう一度確認してもらいたいと思います。</li> <li>・どの項目も現状値に近いので現状維持だと思います。</li> <li>・歯科専門職を中心に、保護者の意識や行動変容につながる支援・周知の充実をお願いします。</li> <li>・横ばい状態とのことです。数値は改善しており前進と捉えています。</li> <li>・課題が絞り込まれているようなので（保護者へのアプローチ）、具体的な方策にまで落としこめるよう検討をお願いします。</li> <li>・お口の健康診査の受診率の低下は、コロナの影響が考えられるので現状維持と評価しました。</li> <li>・コロナ後のお口の健康診査の受診率の向上が課題とされます。</li> </ul>
(3) 【学齢期・成人期】 子どもの歯肉炎予防・成人の歯周病予防に努めます	健康課	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の活動に期待しています。</li> <li>・学校歯科医との連携をさらに深めていただきたいと思います。</li> <li>・コロナの影響が残り、学校での指導、教育それから成人の受診率に影響が残ったが、今後は改善向上を目指してほしいと思います。</li> <li>・中学生に対しては、学校歯科医、養護教諭の取り組みは評価できます。</li> <li>・フレール予防につなげられるよう、口腔機能の維持・向上が図られるよう周知啓発の強化に努めてほしいと思います。</li> <li>・学校、学校医、教育委員会事務局、市長部局の連携を深めて一層の予防に取り組んでほしいと思います。</li> <li>・お口の健康診査の受診率の低下は、コロナの影響が考えられるので現状維持と評価しました。</li> <li>・コロナ後のお口の健康診査の受診率の向上が課題とされます。</li> </ul>
(4) 【高齢期】 口腔機能の維持向上を推進します	健康課	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容、達成状況から読みとると、かなりの健闘をしたのではないかとされます。</li> <li>・状況も状況、外出も訪問も控えていた方も多いのではないかとされます。</li> <li>・単身もしくは、家族全員が高齢もしくは特定条件がある方に要不要の聞き取りをすることは定義があると思います。</li> <li>・健診事業のリニューアルに期待します。</li> <li>・かかりつけ歯科医をもっと増やすことが重要だと思います。80%を目標がよいと思います。</li> <li>・コロナの影響が残り受診率が伸びなかった。今年度より健診内容が一新され本来の後期高齢者健診＝オーラルフレイルに特化したものになったと思います。特に数値データで現れるので、受診者にも健診結果から自分の状態を理解しやすくなり、改善が見込まれると思います。</li> <li>・コロナの影響なので仕方が無い結果だと思うので今後に期待します。</li> <li>・フレール予防につなげられるよう、口腔機能の維持・向上が図られるよう周知啓発の強化に努めてほしいと思います。</li> <li>・令和5年度から後期高齢者歯科健診事業を、歯周病予防目的から口腔機能低下予防目的はリニューアルすることを機に、健診の充実等に努められることをお願いします。</li> <li>・後期高齢者歯科健診の受診率の低下は、コロナ影響が考えられます。</li> <li>・後期高齢者の歯科健診の目的は、壮年期とは違うので、令和5年度からのリニューアルは良い取組だと思います。受診率は低いので、地域包括支援センターなどとも連携して周知活動をしてほしいと思います。</li> </ul>